

G6南エリアタンク(鋼製円筒型タンク)フランジ部からの漏えいについて

< 参考資料 >
平成25年11月15日
東京電力株式会社

- 発見時間:平成25年11月15日 8:50頃
- 発見者:協力企業作業員
- 漏えい箇所:G6南エリアG6-C3 鋼製円筒型タンク下側2段目のタンク壁面継ぎ目部(フランジ部)
- 時系列
 - 11月14日
 - ・18時00分頃 パトロールでの外観目視で、当該タンクに異常なし
 - 11月15日
 - ・8時50分頃 協力企業作業員がG6-C3タンク側板フランジから水の滴下を発見
 - ・9時20分頃 当社社員現地到着し、タンク側板(床面から3m程度)の縦フランジ部から漏えい確認
 - ・10時00分頃 ~ 漏えい箇所サーベイ、水位測定、水サンプリング実施
 - ・11時30分頃 ボルト増し締めを実施し漏えい停止,念のため漏えい箇所下部に受けパンを設置。増し締め後、経過観察を行い、当該フランジ部に、異常がないことを確認

現場の状況



線量測定結果：滴下水がタンク水平フランジ部に溜まった箇所において

35mSv/h(+ (70 μ m線量当量率))(5cm距離)

0.03mSv/h(線)(5cm距離)

水位測定結果：G6-C3：天板から52cm

G6-C2：天板から52cm

サンプリング結果：タンク内水：分析中

堰内水：全 : 5.2×10^3 Bq/L、Cs134:ND(13Bq/L)、Cs137:ND (18Bq/L)

■ 今後の対応(予定)

- ・漏えい箇所について、定例のパトロール時(4回/日)に経過確認
- ・堰内に台風時の降雨の残水(深さ11cm)が残っているため、15時59分より残水移送開始(G3エリア空きタンクへ、1~2日程度で移送完了予定)

発生場所

